

## 教員情報

楠瀬 悠 (KUSUNOSE YUU)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
職名	准教授

### 【学位・業績等】

有する学位	博士（文学）
学位取得大学	早稲田大学大学院文学研究科
主な担当科目	【学部】 心理学概論, 知覚・認知心理学, 学習・言語心理学 【大学院】 心理学統計法特論
専門分野	認知心理学, 言語心理学
主な研究テーマ	漢字表記語の読みにおける形態－音韻間の相互作用メカニズムの解明 漢字語とカタカナ語における音韻隣接語効果の検討
学会・社会活動	Psychonomic Society, 日本心理学会, 日本認知心理学会, 認知神経心理学研究会
主な業績 (教育・研究等)	<p>【学術論文】</p> <p>楠瀬悠 (2020). 漢字語とカタカナ語における出現頻度効果と親密度効果 日本語学論説資料</p> <p>楠瀬悠・日野泰志 (2019). マスク下の意味的プライミング効果におけるプライムの形態隣接語の役割について 認知心理学研究</p> <p>楠瀬悠 (2019). 漢字語とカタカナ語における出現頻度効果と親密度効果の差異 文京学院大学人間学部研究紀要</p> <p>Kusunose, Y., Hino, Y., &amp; Lupker, S. J. (2016). Masked semantic priming effects from the prime's orthographic neighbors. <i>Journal of Cognitive Psychology</i></p> <p>楠瀬悠・吉原将大・井田佳祐・薛俊毅・伊集院睦雄・日野泰志 (2014). 語彙判断課題における仮名・漢字表記語の語長効果 認知心理学研究</p> <p>楠瀬悠・中山真里子・日野泰志 (2013). 漢字熟語におけるマスク下の同音語プライミング効果 認知心理学研究</p> <p>【外部資金獲得実績】</p> <p>令和2年度日本学術振興会学術研究助成基金助成金（若手研究） 「漢字表記語の読みにおける形態－音韻間の相互作用メカニズムの解明」（令和2年4月～令和6年3月）</p> <p>平成29年度日本学術振興会学術研究助成基金助成金（研究活動スタート支援） 「漢字とカタカナの処理の違いに関する音韻隣接語効果の検討」（平成29年4月～平成31年3月）</p>